資料2

熊野大花火大会交通円滑化協議会
関係機関協議資料

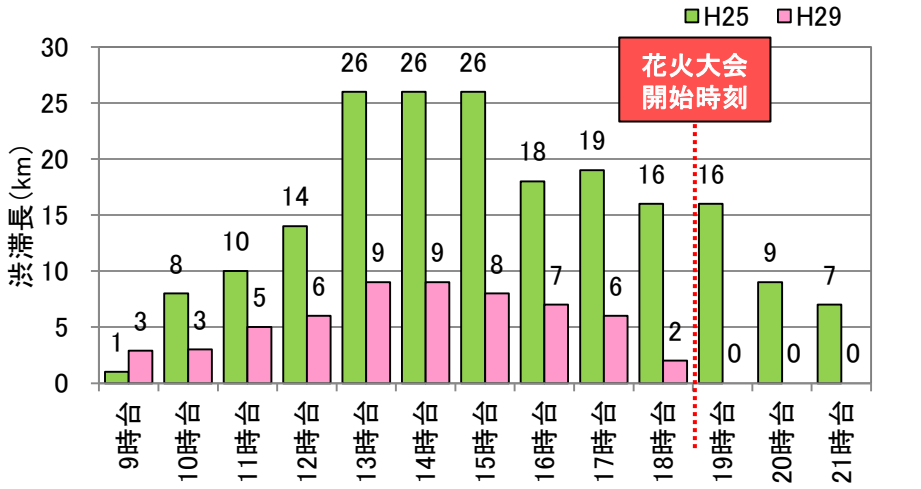
～今後の円滑化協議会・調査の方針（案）について～

平成30年6月11日（月）

（1）交通円滑化対策の成果

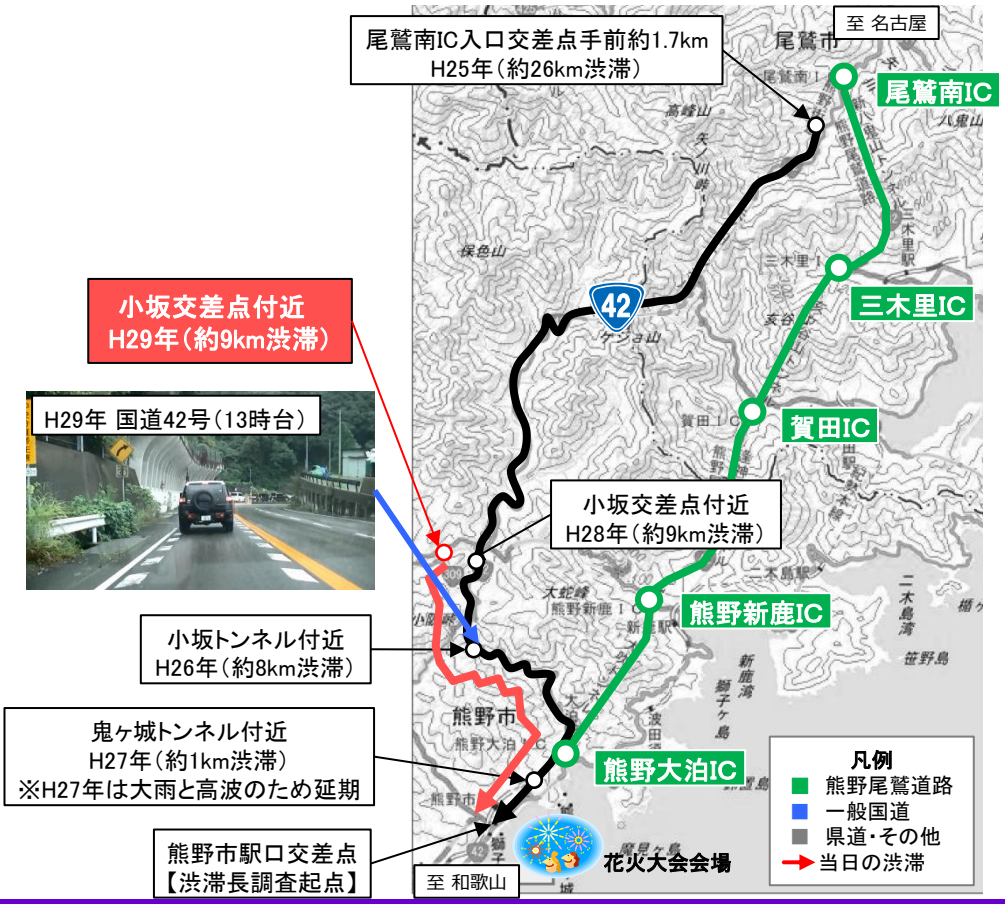
■ H25年は花火大会開始時刻において16ｋｍの渋滞が発生し会場にたどり着けない車両が発生したが、H26年以降は交通円滑化対策により、全ての車両が花火大会開始前に到着している。

＜時間帯別渋滞長＞



出典：紀勢国道事務所調査結果

＜H25年の渋滞状況＞



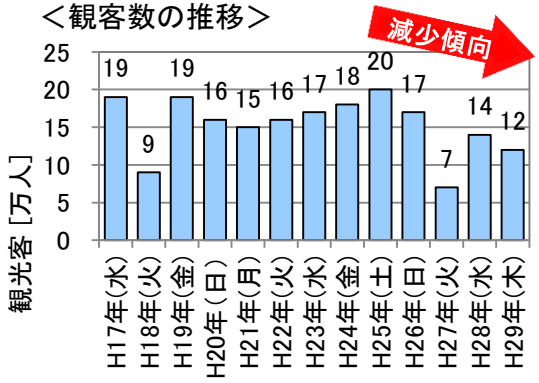
1 今後の円滑化協議会・調査の方針について

熊野大花火大会 交通円滑化協議会

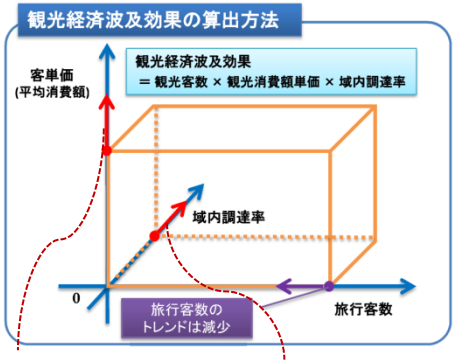
（2）地域活性化を図るための方針について

■ 交通円滑化対策の効果により渋滞は緩和しているが、来場する観客数はH25年の約20万人以降は減少傾向にあり、観光収益の減少が懸念される。
■ 今後は、花火大会の満足度向上と、それに伴う地域経済効果の享受のために観光振興対策案の検討、評価・分析のための基礎調査、各種対策の効果測定も行っていく必要がある。

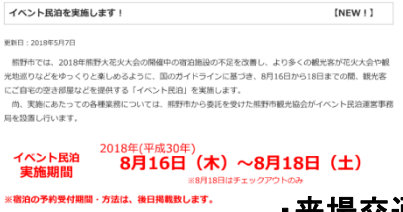
＜観客数の推移＞



＜観光経済波及効果の考え方＞



＜イベント民泊の実施＞


イベント民泊を実施します！ 【NEW！】

更新日：2018年5月7日

熊野市では、2018年熊野大花火大会の開催中の宿泊施設の不足を改善し、より多くの観光客が花火大会や観光地巡りなどをゆっくりと楽しめるように、国のガイドラインに基づき、8月16日から18日までの間、観光客にご自宅の空き部屋などを提供する「イベント民泊」を実施します。

尚、実施にあたっての各種業務については、熊野市から委託を受けた熊野市観光協会がイベント民泊運営事務局を設置し行います。

イベント民泊実施期間　2018年(平成30年) 8月16日（木）～8月18日（土）
※8月18日はチェックアウトのみ

※宿泊の予約受付期間・方法は、後日掲載致します。

熊野大花火大会で民泊

熊野市観光協会 自宅提供者を募集中

効果
- 来場交通の分散
- 地域内での消費活動による経済効果
- 満足度向上（安全な観覧場所の確保など）
- 地元住民との交流機会創出

＜調査項目（案）＞

調査項目	データ取得・調査主体	調査内容
花火大会の観客数	熊野市	来場客数の変化を確認
日帰り・宿泊の観光客数	アンケート調査（熊野市）	日帰り・宿泊客の確認（消費額への影響）
イベント・施設等への来場者数・売り上げ（音楽祭・物産展・鬼ヶ城センター・お綱茶屋・道の駅・　尾鷲市内（おわせお魚いちば「おとと」・さんき茶屋））	商工会・各施設	直接的な経済効果を把握
花火大会の満足度	アンケート調査（熊野市）	地域への満足度、再来訪の可能性を調査。リピート率の確認。
再来訪の希望（花火大会・その他の時期での観光）	アンケート調査（熊野市）	
観光ニーズ（花火以外への立ち寄り箇所）	アンケート調査（熊野市）	宿泊などによる立寄箇所の増減を確認。
自家用車の駐車場到着時間	熊野市	自家用車の到着時間が早くなることによる、市内での消費額への影響
シャトルバスの時間帯別利用人数	三重交通	会場周辺へ向かう時間の確認（会場へ早く来場する利用者の増加　→物産展等の売り上げ向上　等を想定）
「花火大会の経済効果調査」	商工会（実施済）	花火大会全体の経済効果を確認
前夜祭の来場客数・売上・店舗数など	熊野市	前夜祭の充実による来場客数の変化、交通量・渋滞の減少